

## 補助金評価シート

区分	重点・ <u>重点以外</u>	補助根拠	法令補助・ <u>その他補助</u>	開始時期	平成27年4月1日	終期	平成30年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]		新潟市地域コミュニティ協議会運営助成金 地域コミュニティの活性化と分権型協働都市の実現のため、地域コミュニティ協議会の運営に要する経費に対し、助成金を交付する。					
款・項・目		総務費・総務管理費・区政推進費					
所属等		北区地域課 地域振興係 電話 025-387-1165					

年 度		27年度(1年目)	28年度(2年目)	29年度(3年目)
予算額等の推移	予算(千円)	8,200	8,800	8,800
	決算(千円)	8,074	8,655	8,800
補 助 率		10/10	10/10	10/10
目 標		コミュニティ協議会の安定した運営を図る。 <目標が数値でない場合の評価方法> 地域と行政が協働してまちづくりに取り組む環境を整備できたか。		
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上			
	達成率 80%以上			
	達成率 50%以上			
	達成率 50%未満			
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください	申請団体数 10コミュニティ協議会中10コミュニティ協議会 コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決されており、地域と行政が協働してまちづくりに取り組む環境を整備できたと思われる。	申請団体数 10コミュニティ協議会中10コミュニティ協議会 コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決されており、地域と行政が協働してまちづくりに取り組む環境を整備できたと思われる。	申請団体数 10コミュニティ協議会中10コミュニティ協議会 コミュニティ協議会の運営が安定することにより、自主的・主体的に地域課題が解決されており、地域と行政が協働してまちづくりに取り組む環境を整備できると思われる。
補助事業者による情報の公表		事業者の予算書、決算書など		

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	○	g. 目標は数値化されているか	×
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	×
	×になった項目に対する今後の取組	<a～fにおける取組> 団体の財政基盤が脆弱なため10/10としているが、本制度の目的であるコミュニティ協議会の運営の安定化に向けて、団体の財政状況を精査しながら必要な補助をおこなっていく。 <g～hにおける取組> 目標値の数値化などは団体の運営の安定化への補助という趣旨からなじむものではないため具体的な設定は行わないが、将来の自立に向けた基盤づくりへ取り組んでいく。			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか>			
		① 拡充 <u>改善</u> (補助率, 補助額, 補助対象経費, <u>その他</u> )      ② 継続      ③ 廃止			
		①～③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 平成27年度の助成額拡充により、事務局員を雇用するなど地域コミュニティ協議会の運営体制が強化された。今後はさらに自立していけるよう地域向け補助金についての見直しと合わせ、制度検討を行っていく。			